

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：日野保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：園長 森住美奈子	定員（利用人数）： 70（79名）名	
所在地：〒234-0053 神奈川県横浜市港南区日野中央3-41-1		
TEL：045-833-1849	ホームページ： https://sfg21.com/hino/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2007年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人尚徳福祉会		
職員数	常勤職員：17名	非常勤職員：11名
専門職員	園長：1名	主任保育士：2名（内1名育休中）
	保育士：19名（内1名産休中）	保育補助：2名
	看護師：1名	栄養士：2名
	事務員：1名	
施設・設備の概要	保育室：6	トイレ：3
	調理室：1	事務室：1
	園庭：有	調乳室：1
	休憩室：1	更衣室：1

③理念・基本方針

【保育理念】

- ・子どもたちの健やかな育成の手助けをします。
- ・子どもたちの健康と安全を確保し、安定した心で自己発揮のできる場を提供し、子どもの育ちを見守ります。
- ・家庭と協力し、自己を十分に発揮しながら、感情の抑制のできる健全で豊かな人間性をもった子どもの育ちを援助します。

【保育目標】

- ・子どもは豊かに伸びていく可能性を秘めており、現在を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培います。
- ・心身共に健全で安定した生活を保つことができるように、配慮された環境、雰囲気を整え、子どもたちが自らの様々な欲求を適切に満たすことができるようにします。
- ・子どもたちが自ら考え、判断し、行動できるようにすると共に、一方では感情の抑制もできるようにハードソフト両面で保育環境を整えていきます。
- ・社会生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培います。
- ・集団生活の中で、人に対する愛情と信頼感、そして自己肯定感を育て、周囲への配慮、思いやりを持つことができるようにし、自主自立、協調の態度を養い、道徳性の芽生えを養います。
- ・集団生活の中で、言葉への興味や関心を育て、表現する力を身につけ、表現する喜びを体験し、人の言うことをよく聞き、理解する態度を養います。

- ・異年齢交流や世代、地域を広げた人との交わりの中で、多くの体験を通して豊かな感性や社会性を育みます。
- ・自然や社会事象についての興味や心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の基礎を培います。

【園目標】

- ・心と体の健康な子
- ・友達といっばい遊ぶ子
- ・自分で考えて行動する子
- ・思いやりのある優しい子
- ・感情豊かに表現する子

④施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

本園を運営する社会福祉法人尚徳福社会（本部鳥取県米子市）は平成8年に設立認可を受け、病児保育施設「病児看護センターベアーズデイサービス」および、認可保育園「保育園ベアーズ」（現認定こども園ベアーズ）を開設。現在は保育園を神奈川県で8園 東京都11園 そのほか老健など運営しています。

横浜市認可保育所日野保育園は平成19年4月横浜市より移管し今日に至っています。JR京浜東北根岸線洋光台駅より徒歩9分、住宅街の中にあり、定員70名の中規模保育園です。横浜市は待機児童解消の目的で定員超過を認めており現在79名在園しています。886㎡の土地、延べ面積428㎡の2階建て、RC造です。園庭260㎡、固定遊具として鉄棒 昇り棒があり、鉄扉入り口は暗証番号ロック、防犯カメラ 遮光ネットなど設備しています。暗証番号は毎年変更し、保護者に伝えています。

【園の特徴】

<優れた設備>

防犯設備が優れています。2系統あり裏口の入り口を監視する大型スクリーン。異常音もキャッチして知らせます。別の系統は360度撮影のカメラを全部屋に設置、24時間録画、1か月保存できる新鋭機器です。広角カメラは4面撮影可能で部屋中すべてが撮影できます。モニターでは4面が同時に写せます。事故などの様子はカメラで再現できます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和7年4月1日（契約日） ～ 令和7年11月5日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2020年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)子どもが主体的に活動できる環境への配慮と援助

子どもの年齢や発達に応じて興味・関心が持てるように多くの玩具や絵本を備えています。園庭にはお風呂マットやタイヤがあり、子どもたちは自由な発想でそれらを組み合わせ、家や車を表現し、遊びの世界を広げることができています。室内では飲み物の紙パックのマルチパーツを準備し、みんなで大きな家を作るなど、子どもたちは自主性を発揮して遊びを展開しています。職員は安全に遊べるように環境を整え、見守り、子どもが自由に考え、行動できるように声かけをするなど援助しています。

2)食事を楽しくする工夫

園のパンフレットに「給食は楽しく食べるもの」を掲げ、おいしく食べること、楽し

く食べることを大切にしています。苦手な食べ物を「せめて一口でも」などと無理強いすることなく、好きな場所で自発的に食べたいものから食べ、食事の楽しさを味わっています。乳児クラスは、子どもが食べることに興味を持ち、手づかみでもしっかり食べることを大切にしています。食材に関心を持てるように野菜の栽培、バイキングやおにぎり作り、じゃがいも掘り、じゃがいも洗い、玉ねぎの皮むきなど組み入れ、食べられる食材が増えていくように取り組んでいます。

3) 地域住民との世代間交流などの地域交流

地域の子どもとその保護者に定期的に園庭を開放し、園児と一緒に遊んで交流しています。泥んこあそびや人形劇など園の行事にも地域の子どもと保護者を招待し、交流保育を実施しています。地域の特別支援学級に畑を借り、町内会「畑の会」の協力によりジャガイモとサツマイモを育て、6月にはジャガイモ掘り、10月にはサツマイモ掘りをして自治会やケアプラザの方達と世代間交流をしています。団地の自治会が主催するコンサートにも年2回招待され、園児と地域住民との交流の機会になっています。

4) 「おがーるシステム」の利用範囲を拡大し、作業の効率化を図る

法人全体でICT（情報通信技術）化による「おがーるシステム」を導入しました。園児の登降園管理や保護者へのおたより配信、感染症発生時の伝達などを行っています。毎日の子どもの様子や連絡事項は連絡帳に記入して保護者と園でやり取りしています。園での1日の様子はクラスごとにホワイトボードに書き、写真を貼って伝えています。今後は連絡帳や毎日のクラスでの様子や写真なども「おがーるシステム」で配信することで保護者の利便性や保育士の業務の効率化を図ることができるので、今後の活用が期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度、第三者評価を受審させていただき、日頃の保育や園運営について改めて振り返りを行える良い機会となりました。受審前の自己評価作成の際には、職員全員が見直し、考えていくことで、保育理念、保育内容等、多岐にわたる共通認識を持つことができました。第三者評価の結果報告書を通じて当園の取り組みや課題を客観的に確認することもできました。今後も、こどもたちが主体的に活動できる環境を整え「早く保育園に行きたい」と思えるような園づくりを目指します。また引き続き、地域との交流も大切にしたい地域に根ざした安全で安心な保育園であるよう職員一同で努めて参ります。

保護者の皆様にはご多用の中アンケート調査にご協力いただきましてありがとうございました。

最後になりましたが、評価機関の皆様には、今後の課題に気づかせていただきましたこと感謝しております。ありがとうございました。

日野保育園
園長・職員一同

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり